



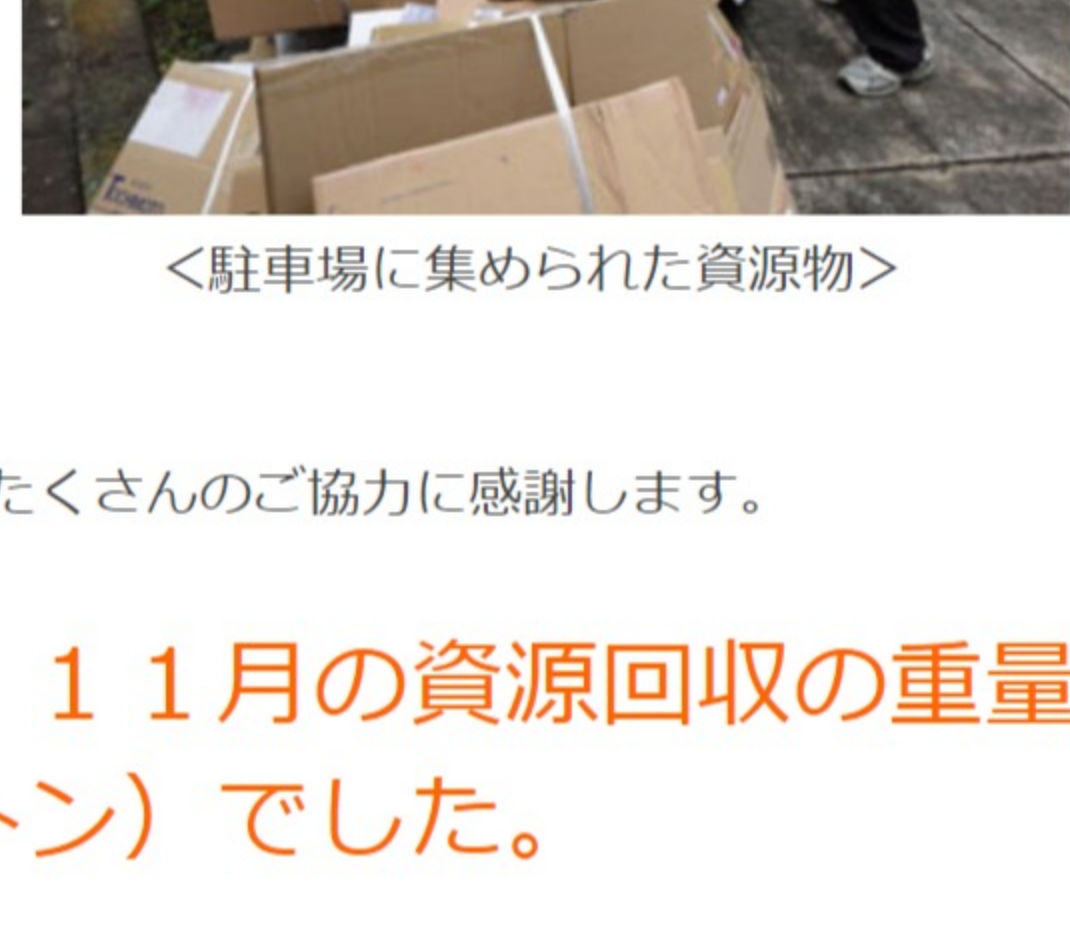
11月1日(金)第8回目の集団資源回収が実施されました。いつもきちんと分別されて出されているのでありがたいです。

回収されたものは、段ボールは段ボール、新聞紙は新聞紙としてそれぞれの重量で計られるので他のと混ぜていると計ることが出来なくなります。

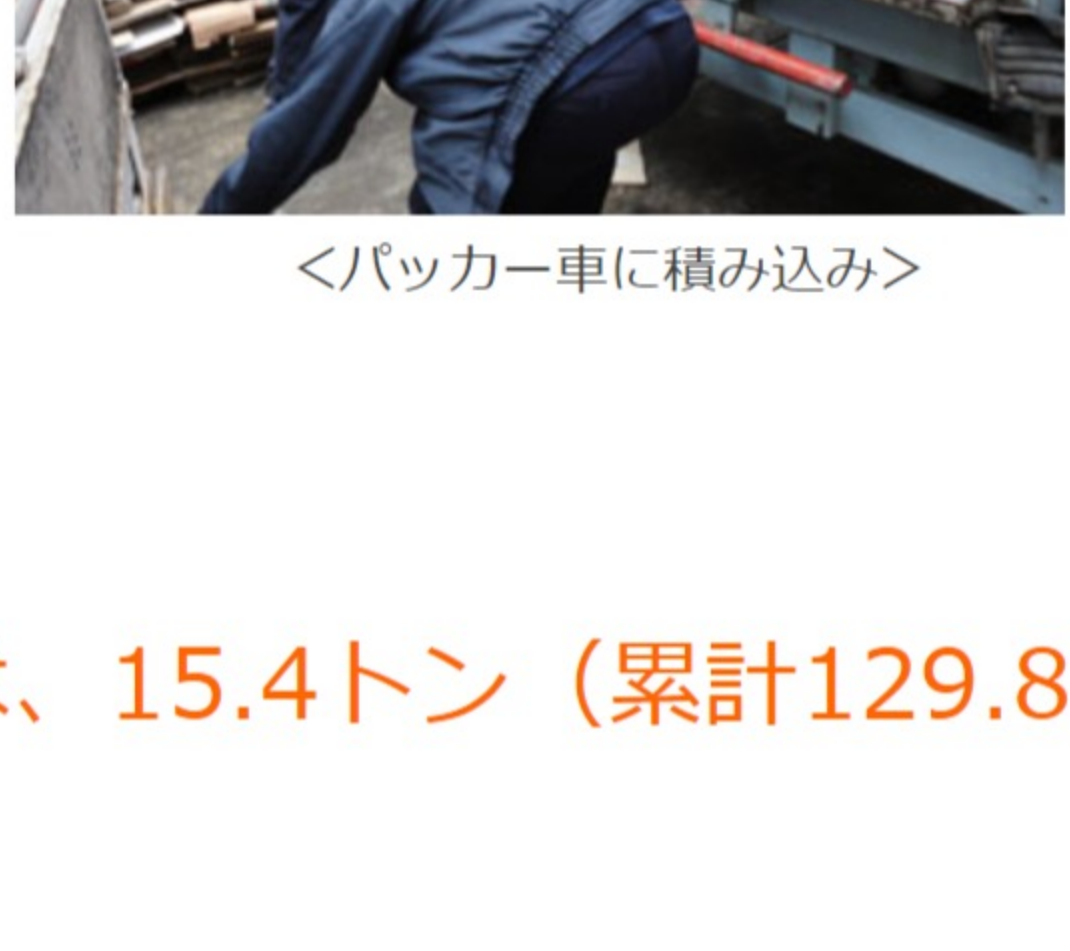
また、ビニールテープで縛ってあるのはすぐに切ることができませんが、ガムテープで留めてあると取り除かないとせっかくの資源が活かされなくなるので手間が倍以上にかかるそうです。

回収する手順としては、初めに段ボール・雑がみ・古着古布・牛乳パックを回収し、その後サービス品の対象となる新聞紙・書籍・雑誌を回収しています。

回収したものは、松が丘中央会館の横の駐車場に集められパッカー車に積み込みます。今日はトラックとパッカー車あわせて8台、作業の人数は8人でした。



<駐車場に集められた資源物>



<パッカー車に積み込み>

たくさんのご協力に感謝します。

11月の資源回収の重量は、15.4トン(累計129.8トン)でした。

12月の資源回収は2回です。12月6日(金)と28日(土)です。2回目は、土曜日ですので間違えないようにしてください。なお、平成26年1月の資源回収はありません。

環境美化担当 松本 白井

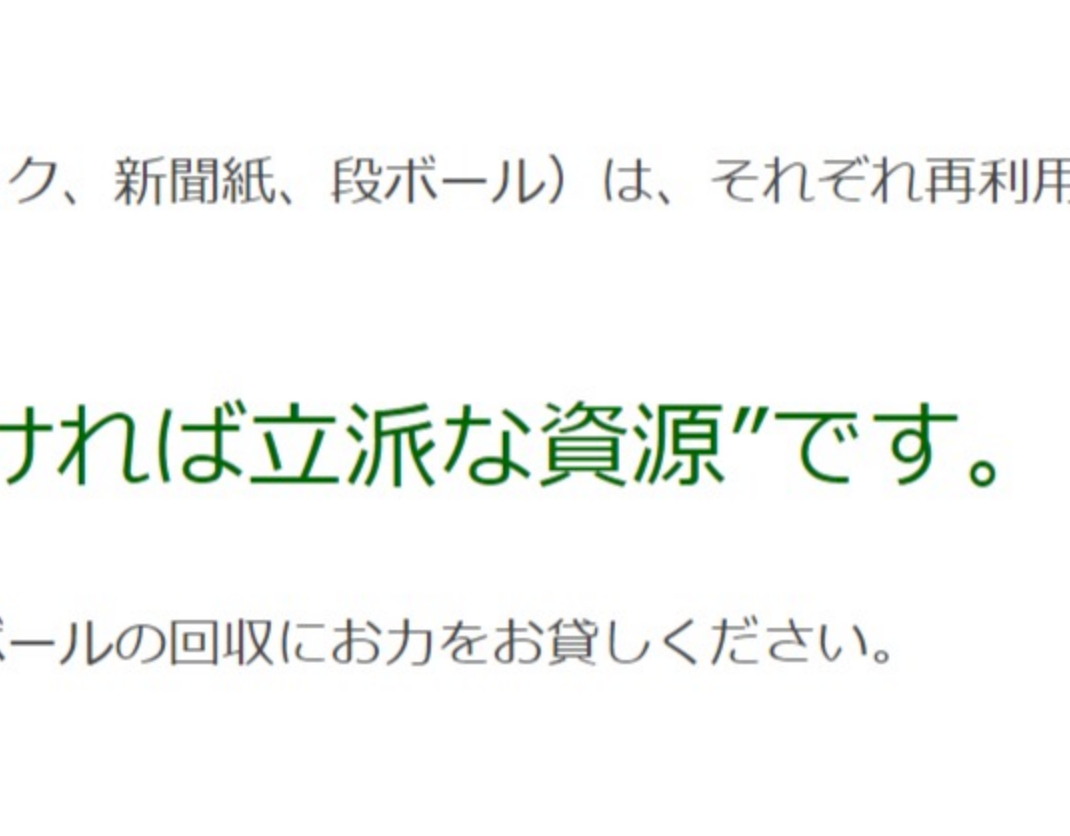
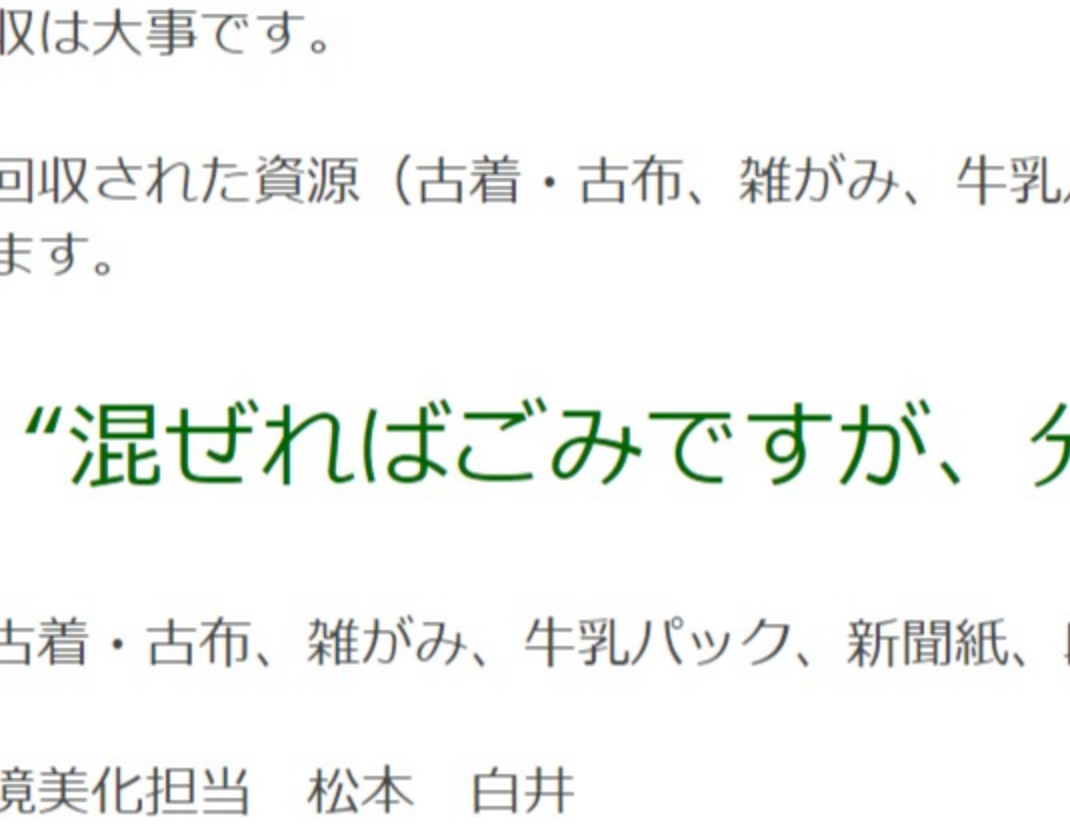
コメント

10月4日(金)、7回目の集団資源回収終わりました。

毎回のみなさまのご協力に感謝いたします。

みなさまが資源物を出される時間は9時ちょっと前になり、心配された盗難は今月も報告がありませんでした。

古布・古着の量がだんだんと多くなってきています。燃えるごみとして出さずに資源回収の日にお出ください。



<大量に出された古着・古布>

また、牛乳パックの数も多くなってきました。「こんな少しだから」と思わず、1枚でもかまいませんので、ご協力ください。お手間をおかして申し訳ありませんが、中を洗い、乾燥させて、周りを切ってください。



<牛乳パック>

今月の資源回収の重量は、14.6トン(累計114.4トン)でした。

集団資源回収の目的は、燃やすごみを減らすことです。所沢には、燃やした灰を捨てる埋立地がありません。寄居、草津、米沢へお金をかけて埋立しています。燃やした灰を減らすためにも資源回収は大事です。

回収された資源(古着・古布、雑がみ、牛乳パック、新聞紙、段ボール)は、それぞれ再利用されます。

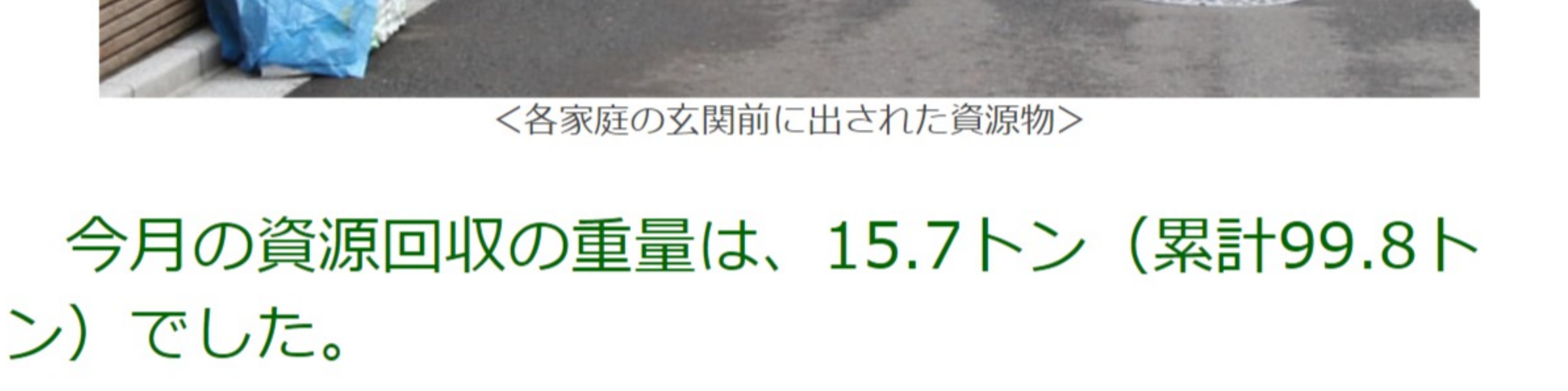
“混ぜればごみですが、分ければ立派な資源”です。

古着・古布、雑がみ、牛乳パック、新聞紙、段ボールの回収にお力をお貸しください。

環境美化担当 松本 白井

コメント

9月18日(水)、環境推進員さんの班長さんと、松が丘クリーンパトロールのみなさんが、一緒にごみ拾いをしました。



<台風一過の青空の下 17名のみなさんが集りました>

八国山の落下物やごみ拾いをするグループ、1丁目のごみ拾いをするグループ、2丁目のごみ拾いをするグループ、南大谷公園・峰の下公園・大谷公園のごみ拾いをするグループの4つに分かれ、いつものように活動を行いました。

1丁目の推進員の班長さんの中には2丁目の公園まで来たことがない人がいて、自分たちの地域の中でも、まだまだ知られていない所があります。

「松が丘へ引越したばかりのころは、まだ子どもたちが小さく、子育てが大変でゆっくり散歩なんてできなかった。こどもが育って、やっとこの頃八国山へ散歩するようになった」「松が丘は、いい環境の中にあるんですね」と、話がはずみました。

環境推進員のみなさん 松が丘環境クリーンパトロールのみなさん ごくろうさまでした。

環境美化 松本 白井

コメント

9月6日(金)、6回目の集団資源回収をしました。

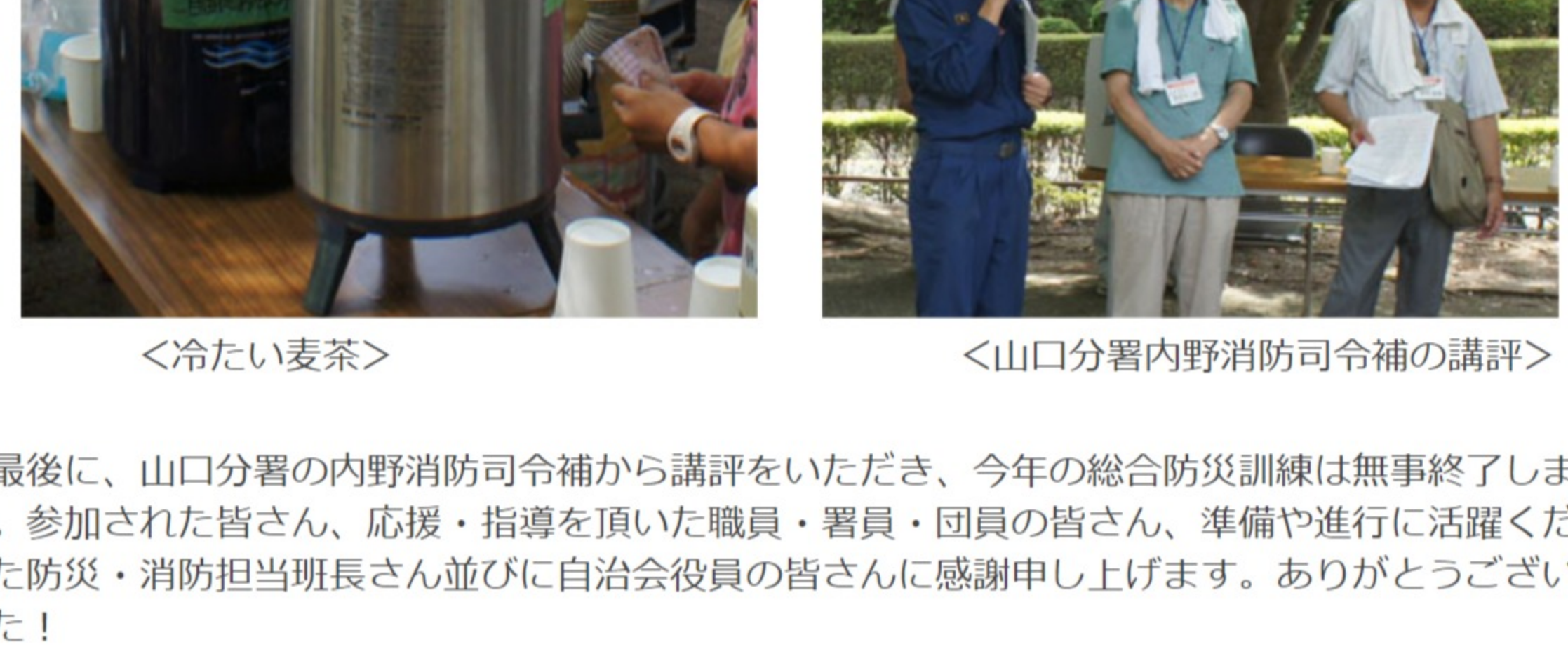
午前8時「そくそくと出される資源回収」と、言えない様子の玄関先。チラホラとは見えるもの出す方が少ないので心配になってきました。

8時30分に資源回収業者のエコ・クルーのトラックが中央会館前の道路に並びました。綿密な打ち合わせが始まりました。



<資源回収業者のエコ・クルーのトラック>

「今月は少ないかもしれない。まだあまり玄関先にだされていないから」と、エコ・クルーの専務に話す「いや、9時ちょうどに一緒にだされてはベストですよ。あまり早く出されると盗られる可能性があるから」と、言っていました。その通りでみなさん 9時ちょっとに出されて方が多かったです。



<各家庭の玄関前に出された資源物>

今月の資源回収の重量は、15.7トン(累計99.8トン)でした。

私たち環境美化担当として資源回収のときは業者と一緒に回っていますが、・・・牛乳パックの回収がまだまだ弱いようです。1か月ありますから1本、2本の牛乳はお飲みになるんではないでしょうか。1枚、2枚でもご協力をお願いします。回収された牛乳パック6枚でトレイトーパーパー1個が再生されます。

<牛乳パック>

牛乳パックは上質なパルプからできているそうなので燃えるごみに入れないで資源回収に出してください。よく、買いた物のついでにいなげやの回収ボックスに入れていたりというお話を聞きますが、自治会の資源回収に出していただくと市から報奨金がでます。報奨金はみなさまへ還元できるようにしますのでご協力をお願いいたします。

環境美化担当 松本 白井

コメント

8月31日(土)、平成25年度の総合防災訓練が実施されました。

朝から蒸し暑い日でしたが、その割には大勢の皆さんが参加してくださいました。午前8時45分、本部で集計した「避難者」数は86名とのことでしたが、9時以降に直接中央公園に来た参加者や一時避難場所に行かなかった防災・消防担当班長さんや役員もいましたので、最終的に100名を超える参加があったと推定されます。また、市役所から5名の職員、水道局から給水車と6名の職員、所沢中央消防署山口分署から2名の署員、所沢市消防団第8分団から3名の団員が応援と指導のために来てくださいました。

<松が丘中央公園で行われた総合防災訓練>

参加者はまず、地区内の6か所にある自宅の近くの一時避難場所に集まり、そこから市の指定した避難場所であり個別訓練の会場である中央公園へ「避難」しました。

予定より15分くらい早く開始式が行われ、加藤会長の挨拶や指導、応援の方々の紹介に引き続き訓練に入りました。参加者は情報班、救出班、救護班、消火班、給水班、給食班での活動を体験しました。給食班では、例年と異なり調理済みの非常食ではなく、調理前の個別袋入りの非常食を渡しました。家で食べられる状態にする体験をしていただくとの意図からです。救出、救護、消火の訓練では子供たちも参加しました。ただ、実際の火災現場では小学生以下の子供は消火器の取り扱いは無理なので、各家庭では注意が必要です。

<救出班>

<救護班>

<消火班>

<給食班>

暑さが厳しいことから、冷たい麦茶を本部席と給食班に用意し、誰でもいつでも飲めるようにしました。お茶のペットボトルを配るよりは邪魔にならず良かったと思います。しかし案内が徹底していなかったため、気付かなかった参加者も多かったようなのは残念でした。

<冷たい麦茶>

<山口分署内野消防司令補の講習>

最後に、山口分署の内野消防司令補から講習をいただき、今年の総合防災訓練は無事終了しました。参加された皆さん、応援・指導を頂いた職員・署員・団員の皆さん、準備や進行に活躍くださった防災・消防担当班長さん並びに自治会役員の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました！

防災・消防担当 桑原洋二郎、岸田勝美

コメント